

第2章 対談

ファシリテーションで 学校教育を より豊かに！



青木将幸



岩瀬直樹

★ ゴリとマーキー

青木 今日、ゴリ（僕は親しみを込めて、岩瀬先生のことを「ゴリ」を呼ばせていただいています）と対談したかったのは、日本のファシリテーター型の先生のなかで、いちばん実践を積んでいるのはゴリだと思っっているからです。僕は教師ではなく、学校のことは本当の意味でよくわからないとことがあります。ゴリに教えていただきながら、この本の足りないところを補っていただけると考えています。

岩瀬 ありがとうございます。今日はマーキー（僕は青木さんのことを、普段から「マーキー」と呼ばせていただいています）と話すことができ、うれしいです。

★ 教室における主と従とは？

青木 今日は、まず「主従」の話をしたと思っていました。主従という概念は、ファシリテーターの話をするときにも重要になってくるからです（ノートに陰陽図を描く）。

教室においては、先生が主になったり、子どもたちが主になったりしながら学びが進んでいくのだと思います。

先生が主で授業が進むとき、従である子どもたちは、先生の望むように動かなくてはいけま

